

3学期の終業式式辞

平成29年3月23日（木）

おはようございます。

3学期終業式にあたって、1年間を振り返ってみると、君たちが成長したと思えることが数多くありました。1学期、2学期にはその都度、皆さんの活躍の様子をお話してきました。授業や学校行事の取組み、土曜学習会や補習などへの参加する姿勢も向上しました。部活動ではチームとしての雰囲気もよく、しっかり活動している様子がうかがえました。そして県大会や近畿大会に進むなど、結果もついてきています。オープンハイスクールで発表したり、ボランティアスタッフとして活躍してくれた人も大勢いました。花を植えるなどの地域貢献活動、インターンシップとして県の施設や手塚治虫記念館や宝塚の事業所等学校外での体験をした人もたくさんいます。

3学期では、2月28日に行われた卒業式についてです。本当にいい卒業式でした。3年生の先輩達の堂々とした様子はすばらしかったですね。これから自分の進む道への大きな希望と期待が、それぞれの表情からうかがえました。そして、卒業式に臨む3年生の気持ちを大切に思って送り出そうとする、2年生のみなさんの気持ちが、姿勢や態度に表れていて、卒業式のいい空気を作ってくれていました。この事は目立たないかもしれません、とても大きな事なのです。相手の心を推し量ってその気持ちを察する、「思い遣る」ことができる人間的な成長を私は壇上から感じて、非常に嬉しかったです。

次に、「実践英語」の取組みから、兵庫県英語ディベートコンテストに、昨年に引き続き出場して、2勝1敗の好成績を収めました。先輩の頑張りを受け継いでくれたことと、出場のための準備をしっかりと行えたことに敬意を表したいと思います。先ほどの卒業式もそうですが、チームとして全体として力が發揮できたことは、非常にすばらしいことです。論題についての賛成・反対のそれぞれの立場での意見を検証し、立論としてまとめておくという入念な準備が必要だったと思います。英語の練習も積んだと思います。そして試合当日は、一人一人が自分の力や責任を果たすと共に、仲間のことを考え合わせて対戦しないとチームとしての力は発揮できません。その大きさを体現してくれたと思っています。

もう一つは、地域での皆さんの活躍です。いろいろあるうちの一つとして、緑化委員さんを中心に逆瀬台2丁目の花壇に花を植えています。地元の住人の方々は大変喜んで「ゆずりは花壇 宝塚高校」という看板を立ててくださいました。若い君たちがこのように地域で活動してくれることは大変意義深いことです。地域の方が、わざわざ校長室に訪ねてこられて、高齢化が進んで、なかなか地域の環境をよくしていくことがしにくくなっていることもあります。若い君たちの力で地域がきれいになったことに事に感謝の言葉を言われました。ベンチで友達と待ち合わせしている様子や楽しそうに登下校している様子を見ているだけでも嬉しいと仰っていました。皆さんの姿がこの地域で、あたたかい贈りものになっています。

このように、チーム県宝として向上したと感じられた1年でした。そして、皆さんにはさらに持っている力を伸ばして欲しいと思います。

皆さんは、これから自分がどのような高校生活を送るか、どのような進路を考えるか、今後どう生きていくかを本気で考えていく時期になりました。その際に、「自分がいる場所」をどうよくしていくかが大切なキーポイントになるということを特に今日は強く言いたい

と思います。自分がいる場所とは、宝塚高校、教室、体育館、宝塚市、兵庫県、日本、自分の家もそうです。自分が生きている場所ということです。自分が所属している所、クラス、部活やチームでの立場という意味も入っています。人間は、自分がいる場で、何か嫌のことがあると、つい人のせいにしてしまったり、自分の責任を見ないようにしてしまいがちです。今日お話ししたような学校での学びや取組みで、自分がいる場所、所属しているところが自分が生きていく上で、よいところになるにはどうしたよいかを考える事の大切さを理解して欲しいと思います。

公職選挙法の改正によって、選挙権年齢が18歳まで引き下げられました。学校では、地歴公民科の先生が中心になって、宝塚市の選挙管理委員会の協力をいただき、出前授業や選挙シミュレーションを行いました。政治参加の意味を理解して、政治的な教養を身につけて、有権者としての自覚と、自分なりの考え持てるようになって欲しいと思います。そして、いろいろな場面で、他の人の意見に耳を傾けて、何か問題があればそれを解決しようとする人間に育って欲しいと強く思っています。

4月には後輩達が入学してきます。4月のスタートがスムーズにきれるように、この春休みを過ごしてください。

以上、第3学期終業式の式辞とします。